

第18回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

■ 日時：令和8年2月12日（木） 午後2時00分～午後3時50分

■ 場所：ビッグライフ滝沢大ホール

■ 出席委員（21名）（敬称略、順不同）

岡田 洋一（滝沢市副市長）
浦部 和之（岩手県交通株式会社）
八木澤 健（代理）荒屋敷 正剛（岩手県北自動車株式会社）
川村 啓太（ジェイアールバス東北株式会社）
宮澤 淳（一般社団法人岩手県タクシー協会）
大野 尚彦（一般社団法人盛岡地区タクシー協会）
樋口 潤（岩手県交通労働組合）
石山 勉（滝沢市自治会連合会）
黒澤 明夫（滝沢市老人クラブ連合会）
上野 幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）
佐藤 光保（社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会）
阿部 正喜（滝沢市商工会）
佐々木 亜津子（代理）伊藤 誠（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
吉原 武志（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）
岩野 公伸（岩手県盛岡西警察署）
岩井 勝典（代理）（東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）
成島 英史（IGRいわて銀河鉄道株式会社）
中久木 晴人（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）
橘 富和（岩手県盛岡広域振興局土木部）
大森 英樹（滝沢市都市整備部）
宇佐美 誠史（岩手県立大学総合政策学部）

■ その他出席者

事務局：5名

随行者：1名

傍聴人：5名

報道機関：1名

■ 配布資料

- 第18回滝沢市地域公共交通会議 次第
- 滝沢市地域公共交通会議 委員名簿
- 第18回滝沢市地域公共交通会議 座席表
- 滝沢市地域公共交通会議設置要綱
- 【資料1】滝沢市地域公共交通計画の施策の取組状況について
- 【資料2】滝沢市コミュニティバスの運行について（福祉バス及び患者輸送車の再編）
- 【資料3】滝沢市地域公共交通計画の最終評価について
- 【資料4】盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について
- 【資料5】盛岡都市圏地域公共交通会議への移行について



1 開会

事務局

それではただいまから第18回滝沢市地域公共交通会議を開催いたします。始めに本日の会の成立についてご報告申し上げます。本日の会議につきましては、委員24名中21名の皆様にご出席頂いております。滝沢市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により、過半数に達していますので本日の会議が成立することを報告させていただきます。また当交通会議は要綱第6条第4項に基づき原則公開することとしています。後日会議の議事録をホームページに公開することで対応いたしますのでどうぞよろしく申し上げます。

続きまして滝沢市長よりご挨拶申し上げます。

2 市長挨拶（副市長代読）

皆さんこんにちは。滝沢市副市長の岡田でございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本来であれば、市長が参りましてご挨拶申し上げますところではありますが、別の会議に出席しておりますため、本会議の委員ではありませんけれども私が代読をさせていただきます。

本日、第十八回滝沢市地域公共交通会議の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

委員の皆様には、日頃から本市の市政運営にご協力をいただき、また、本日はお忙しい中、本会議

にご出席賜り感謝申し上げます。

さらには、物価高騰が続く昨今、運転士を含む人材不足も一層深刻となっている中、各交通事業者様におかれましては、地域公共交通の維持・確保にご尽力いただいていることに対しまして厚く御礼申し上げます。

本市では、平成二十九年度に策定した地域公共交通計画に基づき、交通事業者様への支援も含め、利用促進を中心とした各施策に取り組んでまいりましたが、本計画は本年度が計画期間の最終年度となります。

来年度からは、市町域を跨いだ移動が多い交通圏である盛岡市、矢巾町と共に三市町で策定した「盛岡都市圏地域公共交通計画」に移行し、広域、或いは各市町の施策をより一層強化し取り組んでまいりますので、関係者の皆様におかれましては、引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は、本年度に本市で実施した施策の報告や、現在まで、市で検討を進めてまいりましたコミュニティバス再編の詳細についてご説明するほか、最終年度となる市計画の施策目標に対する評価等に関しましてご説明する予定としております。

結びに、委員の皆様には、活発な協議をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

3 委員紹介

事務局：本日出席されております委員のご紹介につきましては、時間の都合上、配布しております名簿をもって代えさせていただきます。

なお、岩手県バス協会の菅原克也委員、滝沢市PTA連絡協議会の佐々木亜弥委員、岩手運輸支局の佐々木拓真委員につきましては、本日欠席のご連絡をいただいております。

また、岩手県北自動車の八木澤健委員の代理人として荒屋敷正剛様、岩手運輸支局の佐々木亜津子委員の代理人として、伊藤誠様、JR東日本盛岡統括センターの岩井勝典委員の代理人として高嶋和人様にご出席をいただいております。

最後に、事務局の名簿につきましては名簿の裏面に記載しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 議事

事務局：それでは次第の「4 議事」に入りたいと思います。要綱第6条により会長が当会議の議長となることになっておりますので、宇佐美会長の議事進行にて宜しくお願いいたします。

(1) 滝沢市地域公共交通計画の施策の取り組み状況について

宇佐美会長：それでは次第に沿って進めて参りたいと思います。

『次第4(1) 滝沢市地域公共交通計画の施策の取り組み状況について』事務局より説明をお願いいたします。

事務局：都市政策課の佐々木と申します。本日はよろしくお願いいたします。

～「滝沢市地域公共交通計画の施策の取り組み状況について」を【資料1】により

説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。ただいまの説明に対して質問やご意見ございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

宮澤委員 : 岩手県タクシー協会の宮澤です。タクシー事業者への物価高騰に対応した支援について感謝申し上げます。ただいまご報告のありました今年度の取組の中で、バスのドライバー確保に向けた取組を伺ったところですが、タクシーについても人材確保が大きな課題となっており、二種免許の取得にかかる費用が大きな負担となっているところがございます。国の支援もありますが、地方では使いづらいものとなっており、他県では県からの支援の事例もあるようですが、岩手県では実施されていないことから、タクシーについてもドライバー確保に向けた支援を検討いただきたいと思っております。また、陸上自衛隊岩手駐屯地での取組についても、今年度は会社説明会も開催されたようですので、次回開催の際はタクシー事業者を加えることもご検討願いたいです。

事務局 : 複数のタクシー事業者様との意見交換の場に参加した際に、ドライバー確保が非常に困難であることや二種免許取得の負担等について伺ったところ。末端の交通を担うタクシー事業者様の役割は大きいものと認識しておりますので、今後、支援金の拡充等について前向きに検討したいと考えております。陸上自衛隊岩手駐屯地での取組についても、体験を通じて魅力ややりがいをお伝えする場を設けられるよう、盛岡都市圏として広域で対応するとともに、引き続き陸上自衛隊に対して要望してまいります。

大野委員 : 盛岡地区タクシー協会の大野と申します。運転士確保支援金の詳細な条件についてお聞かせいただきたいです。支援金の金額の差も教えていただきたいです。

事務局 : 運転士確保支援金の条件は雇用期間が1年以上見込まれる方を採用した場合に支援金を交付することとしております。また、支援金の金額につきましては、市内の営業所に採用された場合は80万円としており、その他の営業所に採用された場合は40万円としております。

佐藤委員 : 社会福祉協議会の佐藤です。P4の柳沢地区におけるアンケート回答率が低いことについて、アンケートによらない調査方法もあったかと思うのですがいかがでしょうか。

事務局 : アンケート調査に限らず、実証運行を行った際も利用者が限定的であり、車を利用されている方が多いことから関心がなかったことが一つの要因であったととらえています。このような中で、本日も傍聴でご参加いただいておりますが、柳沢地区の代表の方々との意見交換や、老人クラブへ出向いてお話を伺いしながら、どのような交通モードが適しているか検討をしているところです。また、福祉バスや患者輸送車にも実際に乗車して直接利用者さんのご意見を伺いながら、この後説明します再編についても検討を進めてまいりました。

(2) 滝沢市コミュニティバスの運行について

宇佐美会長 : では次に進みたいと思っております。

『次第4 (2) 滝沢市コミュニティバスの運行について』事務局より説明をお願いいたします。

事務局 : 都市政策課の篠原と申します。

～「滝沢市コミュニティバスの運行について（福祉バス及び患者輸送車の再

編)」を【資料2】により説明～

宇佐美会長 : 只今のご説明に関して、ご質問ご意見ございませんでしょうか。

宇佐美会長 : 資料2-1P4の5. スケジュールについて、本日の滝沢市地域公共交通会議(意見聴取)となっているが、当議題は協議事項として合意を得るものという認識でよろしいか。

事務局 : 意見聴取と記載しておりますが、この場で合意をいただくものと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

宇佐美会長 : ありがとうございます。また、先ほど説明があったとおり、運賃につきましては後日開催される運賃協議会にて決定するものとなっておりますので、運賃を除く内容について協議し、運賃については意見をお伺いするのみとなりますのでよろしくお願いいたします。

大野委員 : フィーダー系統補助金の活用を見据えているかと思いますが、本協議内容については盛岡都市圏地域公共交通会議の分科会として議論するものでしょうか

事務局 : フィーダー系統補助金の活用については、令和9年度の申請を見込んでおり、申請前に補助金の活用について盛岡都市圏地域公共交通会議にてお諮りする予定としております。今回の協議は道路運送法に基づく運送サービスの内容について協議を行うものです。

佐藤委員 : 色々なところでコミュニティバスやデマンドバス等の話を聞いており、どこでも同じような課題を抱えているようですが、例えば八幡平市で運行しているコミュニティバスの状況等は把握されていますでしょうか。

事務局 : 様々な自治体でコミュニティバスの運行について課題を抱えているものと認識しておりますが、今回の当市の再編につきましては、非効率となっている運行や利用者の需要に対応するものとなっております。中心拠点商業地区に開店予定の商業施設への需要も含めて、今後の利用者の推移等によって将来的に廃止を含めたあり方について検証を行ってまいります。

八幡平市のA I デマンドバスにつきましては、新聞にも掲載されておりましたが、利用者が少ない地域において、利用に応じて最短ルートで運行するものと伺っております。コールセンターの設置やシステムの構築等、通常の運行に比べて金額の負担があるようですが、運行路線数を減らすことで現行の経費よりも少ない負担で運行しているとのこと。当市としましても今後の利用者数によって、このようなA I を活用したバスやタクシー等の運行についても検討することになるものと考えております。

佐藤委員 : 福祉活動の先進地ではデマンド系の交通手段を上手に活用しており、人気があると伺っている。将来的にはこのような運行方法も福祉バスの状況を踏まえつつ考えていただきたいと思います。

事務局 : 今後の利用者の状況も含めて総合的に判断してまいります。福祉の面についてですが、最近では高齢のためバスやタクシーに一人で乗車できないといったご意見を多く頂いていることから、福祉関係課とも連携をとりながら高齢者への移動支援を検討する必要があると認識しております。

宇佐美会長 : コミュニティバスと言っても、地域によってさまざまな運行形態があり、他市町の状況を知りつつも、滝沢市内の状況を踏まえて、何が適切かしっかり検討しながら進めていただければと思います。

伊藤様 : 岩手運輸支局の伊藤です。コミュニティバスは普通の路線バスではなく、市町村が費用を負担して走らせているものを全てコミュニティバスと言っており、バスに限らずタクシーを使用しているものもコミュニティバスと言われています。コミュニティバスは路線バスが廃止になり不便となった地域に補完する形で導入されているため、大盛況で儲けが出るというのではなく、どうやって赤字を減らすかといった話になってしまいます。20年前頃から予約があった時だけ走るデマンド交通が人気となりましたが、電話を受け付けるシステムが必要であり、予約や乗合を嫌う方もいるため、デマンドから路線定期運行に戻した事例も見受けられました。必ずしもデマンドが一番良い選択肢とは限らないことが最近の考え方としてありますので、しっかりと検討する必要があります。その中で、成功している事例が紫波町の「しわまる号」ですので、大野委員にご紹介いただければと思いますがいかがでしょうか。

大野委員 : 盛岡地区タクシー協会の大野です。しわまる号は2020年4月1日から運行を開始し、間もなく6年目となります。AIを活用したドアツードアの輸送を実施しており、3年目からは従前のコミュニティバスの年間輸送人員を越えて推移しており、毎年5～10%程の乗車率で増加していますが、まだしわまる号を使ったことがない方やしわまる号を知らない方が多くいるため、伸びしろのある町だと認識しています。しかしながら、利用希望時間が集中するため、待ち時間が長いことが課題となっています。1時間待ちが常態化しており、ドライバーの休憩時間も確保できていないような状況のため、ドライバーの休憩時間を確保しつつ待ち時間を減らせるような策を検討中です。

宇佐美会長 : ちなみにしわまる号とタクシーとの棲み分けはどのような状況でしょうか。

大野委員 : 急ぎの予定がある場合は、タクシーをご利用いただいている。時間に余裕がある方がしわまる号を利用していただいています。運行開始前にタクシー乗務員からタクシーの仕事を取るようになるんじゃないかといった声もありましたが、利用者が目的に応じてしわまる号とタクシーの両方を活用しており、開始1ヶ月ぐらいでそのような声も出なくなりました。予約方法もネットと電話で受付しており、積極的にネットでの予約を促しているが、現在でも9割程が電話での予約を行っているため、コールセンターのオペレーターの負担も大きいです。

宇佐美会長 : 運賃は別途協議することとなりますが、これまで事務局から説明のあった内容について異論なしということによろしいでしょうか。

→合意

(3) 滝沢市地域公共交通計画の最終評価について

宇佐美会長 : 『次第4(3) 滝沢市地域公共交通計画の最終評価について』事務局より説明をお願いします。

事務局 : 都市政策課の篠原と申します。

～「滝沢市地域公共交通計画の最終評価について」を【資料3】により説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。只今のご説明について、ご質問ご意見ございませんか。

宇佐美会長 : これまで学生と一緒に取組んできた内容がもう少しあったような気がするが、P6に記載されていないように感じます。

事務局 : ご指摘のとおり、これまで県立大学生との協働により取り組んできた内容等の記載が不足しているため、改めて修正を行い、議事録とともに後日皆様にご確認いただ

ければと思いますのでよろしくお願いいたします。

伊藤様：意見という程でもありませんが総括的な話をさせていただきますと、議事（１）で報告のあったとおり、計画策定時から地域に入りながら様々なことを細目にやっているなと思いました。他の自治体でも、廃止路線の代替交通の話や、コミュニティバスのダイヤ改正について地域公共交通会議で諮られますが、滝沢市は色々な人達のところへ足を運んで話を聞きながら、それに基づいて様々な取組をこれまで9年間継続されてきたのではないかと思います。今回の福祉バスについても網計画を策定した頃から認識していた課題についてやっと再編に至ったわけで、結果としてあまり代わり映えがしないと感じられた方もいらっしゃると思いますが、実は2年ほど前から様々な協議を重ねており、公共ライドシェアの導入や毎日運行等、色々な可能性について一つ一つ確認を行いながら今回の検討に至ったものです。今回示された細々とした変更点も様々な意見が反映されており、長い時間をかけて丁寧に取組んでいると感じております。今後は盛岡都市圏地域公共交通計画に移行となりますが、課題が全てなくなるわけではないので、これまで取組んできたものを継続して頂きたいと思います。

宇佐美会長：最終評価にこれまで取組んできたことをしっかり記載してもいいと思います。そのうえで、課題として残っている部分を盛岡都市圏移行後も継続して取り組むこととし、都市圏移行後も滝沢市内で完結する内容については、これまでどおり市の施策として取組んでいくことについても記載していただきたいです。

事務局：ご意見のとおり修正します。

（４）盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について

宇佐美会長：『次第４（４）盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について』事務局より説明をお願いします。

事務局：都市政策課の浦島と申します。

～「盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について」を【資料４】により説明～

宇佐美会長：ありがとうございます。只今のご説明について、ご質問ご意見ございませんか。

宇佐美会長：では、以上を持ちまして議事はすべて終了いたしましたので、進行は事務局へお返ししたいと思います。

５ その他

事務局：つづきまして、『次第５その他について』事務局より説明いたします。

事務局：都市政策課の浦島と申します。

～「盛岡都市圏地域公共交通会議への移行について」を【資料５】により説明～

事務局：只今の説明につきまして、ご質問ご意見ございませんか。

７ 閉会

事務局：それでは、都市整備部長の佐藤より閉会の言葉を申し上げます。

事務局：都市整備部長の佐藤です。

佐藤 本日はお忙しい中、長時間にわたりご協議をいただき、誠にありがとうございました。先ほど事務局よりご説明を差し上げたとおり、市の地域公共交通会議としては本日が最後となります。市の地域公共交通計画策定時より本会議の会長を務めて頂き、さまざまご指導を賜りました宇佐美会長より、最後にご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

宇佐美会長：滝沢市の地域公共交通網形成計画策定時から関わらせていただいておりますが、滝沢市の路線は盛岡市に向いている路線がほとんどで、滝沢市単独で色々と事業を進めていくことが難しい面も多い中、市としてやれることは頑張ってきたのではないかと考えています。本日もそうですが、これまでもこの場で活発にご意見をいただいたり、それ以外の色々な場で皆さんのご協力があってやってこられたのではないかと感じています。今後は都市圏に移行すると言いつつもこのような場は間違いなく残りますので、今後とも滝沢市の公共交通についてそれぞれの立場から様々ご意見をいただきますようよろしく願いいたします。これまでご協力をいただきましてありがとうございました。

事務局：以上をもちまして『第18回滝沢市地域公共交通会議』を閉会させていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。